

向日市は、昭和47年10月1日に市制を施行し、来月1日、市制施行30周年を迎えます。市では、市制施行30周年を機に人と人とのつながりや人とまちとのつながりが深まり、向日市の未来の創造につながっていくよう、市制施行30周年のテーマ「つなぐ」のもと、多彩な記念事業を実施し、この節目の年を市民の皆さんとともに祝います。

市民企画事業の調査

市民から募集した事業アイデア(「(仮称)長岡京のドラマ化」)を具体化していくため、市民や有識者等からなる検討委員会を設置するなど、ドラマ化に向けて調査・研究等を行います。

市制施行30周年記念式典

◆日時 平成14年10月5日(土)
午前10時～

◆場所 向日市民会館

◆内容 ・ミニコンサート・式典
市民、団体の功労表彰、「市民健康づくりの日」の制定発表)・講演
「健康づくりについて」森谷敏夫氏(京都大学大学院人間・環境学
研究科教授)

施設の無料開放

市制施行30周年を市民の皆さんに実感してもらい、心と体の健康づくりに取り組んでいただくため、10月1日(火)、5日(土)、6日(日)に市民体育館、市民温水プール、天文館(プラネタリウムの観覧)を無料開放します。

「(仮称)人材ほっとバンクむこう」の開設

市民の皆さんの生涯学習活動を支援していくため、様々な知識や経験を持った方を人材として登録し、希望に応じて紹介していく「(仮称)人材ほっとバンクむこう」を平成15年度に開設します。

「むこうまち」を歩こう

市民の皆さんの健康づくりと地域資源を再認識していただく機会となるよう、竹の径をはじめ、本市の観光・歴史資源を巡るウォーキング大会を開催します。

◆日時 平成14年10月6日(日) 午前9時～

◆集合(スタート) 長岡宮朝堂院跡

◆受付 午前9時～9時30分の間に順次受付・スタート

◆コース 長岡宮大極殿跡や竹の径をはじめ、本市の観光・歴史資源を巡る約5kmのコース

市制施行30周年記念エコーはがきの作成

市制施行30周年と健康都市むこうをPRするため、10月1日に向日市をはじめ、長岡京市、大山崎町の17の郵便局(特定局を含む)でエコーはがき(1枚45円)を発売します。

子ども花いっぱい運動

子ども花いっぱい運動をスタートします。初年度の今年は、第4向陽小学校の4年生の児童と老人福祉センター琴の橋の園芸サークルの皆さんとが共同でコスモスを育てるほか、市役所でも季節の花を栽培します。児童らが育てた季節の花は、10月1日に記念式典会場となる市民会館や各公共施設に飾られ、市制施行30周年に文字どおり花を添えます。

向日市は今年三十周年

記念事業を展開します



「遊歩百選」に選ばれました

向日市が健康ウォーキングコースとして整備を進めている、竹の径などの「竹林かぐや姫の里」が、このほど「遊歩百選」に選定されました。

日本全国804地区から推薦された散策路やウォーキングコースの中から、地域が誇る観光資源をもとに、自然と歴史の再発見があり歩きながら健康づくりを楽しめるエリアとして、100地区が選ばれたものです。

竹の径は、昨年度国土交通省から「手づくり郷土賞」にも選定されており、今回の受賞でさらに全国から注目を集めるスポットになってきています。

市役所ロビーなどに展示します

深田川橋公園にご意見を

市では、阪急東向日周辺の浸水対策を進めるため、深田川橋公園に雨水排水ポンプを設置し、併せて深田川橋公園を新しく作り直すことにしました。

この公園改修には、市民や専門家で組織する「深田川リメイク委員会」が中心になって4回のワークショップを開催し、市民の皆さんの意見を取り入れながら公園の再生案をまとめました。今回ワークショップで完成した深田川橋公園模



▲深田川公園の完成模型

型を、市民の皆さんに公開し、ご意見や感想を募集します。

■公開期間と場所

9月2日(月)～6日(金):市役所ロビー

9月7日(土)～11日(水):図書館

9月12日(木)～15日(日):市民会館

■お問い合わせ

健康都市推進室 内線276

word

市長のひとこと「専門家会議によせて」

この夏、学識経験者や企業経営者など5人の委員で構成する「向日市行財政問題専門家会議」を設置いたしました。

本格的な地方分権の到来の中で、個性豊かなまちづくりを、自らの決定と責任のもとで進めていかねばならず、より一層簡素で効率的な行政運営が求められています。

会議では、喫緊に取り組むべき課題として、

変革する新しい時代に対応できる行財政運営能力をいかにして身につけることができるか、また行財政改善のさらなる推進、特に肥大化した市民サービスの見直しなどについて、市民と行政の役割分担を明確化する観点から、ご審議いただけるものと考えています。

笑顔が輝く健康都市
向日市長 岡崎 誠之